

離任のご挨拶

退職

<国語科> 松藤 邦彦 教諭

みなさんの顔を見ながら挨拶できないことは大変「遺憾」です。

長い話にも忍耐強く耳を傾け、真剣な眼差しを向けてくれたみんなの姿、結果を出そうと努力している一人一人の姿、そして、少しずつ人として成長していく姿。そういう姿にふれることが私にとって何よりの喜びでした。

もちろん、すぐ寝てしまう人、友人との語らいを優先する人、最小限の努力で最大限の結果を出そうとしていつも失敗している人に対しては、厳しく、激しく、何度も、遠慮なく叱らせていただきました。

同じ話を何度も聞かされてうんざりしていたかもしれませんが、そこに「松藤の期待」を感じてくれていたらありがたいです。みなさんのこれからの道のりを心から応援しています。

「あきらめるな！ 今、やれることがある!! 自分のためにがんばれ!!!」

「あきらめている人間が、一番つまらんぞ!!(怒)」

「いつもの説教」を、もっともったしたかった!!! (笑)

《課題》2年1・5・6・8組の生徒は、次の問いに答えなさい。

問1 「遺憾」の読みと意味を答えよ。

問2 あなたが感じる「松藤の期待」を今すぐ考えよ。

問3 「いつもの説教」の中で、特に心に残っている言葉を今すぐ思い出し、現代文のノートの表紙に今すぐ書き留めなさい。

<地歴公民科> 刈田 令弥 教諭

3年間関わった卒業生がいない今、在校生のみなさんとは授業でも、部活動でもまったく接点がありませんでした。学校を去るタイミングとしては一番いいところかな、と考えています。みなさん、どうか一生懸命努力されて、「すてきな人」になって下さい。

失敗をおそれず、人と自分を比較せず、自分の内心の声に耳を傾けて、結果を二の次にして、やるべきことをやる、ということをくり返していけば、光っていく人間になれるでしょう。健闘を祈っています。

<理科> 林 保彦 教諭

みなさま、ありがとうございました。

楽ではありませんでしたが、大いに楽しく過ごした16年でした。在校生も卒業生もまだまだ、りっぱになれますから、やってみてください。「やれないのは、やらないから」だと思います。

「まず動く」ことが大切でしょう。それには、夢と少しの勇気が必要です。まずは、夢を持つことです。好きな言葉に、「人事を尽くして 天命を待つ」があります。万事に対してあきらめないでください。まずは精一杯やってみてください。

最後に、負けそうになったら、歌ってみるのもいいでしょう。「 負けないでもう少し 最後まで走り抜けて どんなに離れても 心はそばにいるわ 追いかけて 遙かな夢を・・・ 」

活躍を期待しています。お世話になりました。

＜保健体育科＞ 加藤 慶仁 教諭

義理人情に縛られることなく、義理人情にいつも気を配り…。

ニヤニヤしてばかりいないで、いつも笑顔を絶やさず…。

胸に久遠のほのお秘め、みんなの力で是非とも“北西魂”を築きあげてください。教員生活最後の3年間、楽しい思い出をありがとう。

Good-bye&Good-luck 北西。きっと実むすぶよ。

2020 年 春。

転出

＜国語科＞ 日暮 豊 教諭 （旭川北高校へ）

1年間と短い期間ではありましたが、北広島西高校でみなさんと共に充実した日々を過ごすことができました。学校祭・球技大会・クロスカントリースキーなど皆さんの活動している姿を見るたび、勇気と元気をいただきました。コロナウィルスに負けることなく、更に北広島西高校が発展することを願っています。ありがとうございました。

＜地歴公民科＞ 天野 潤也 教諭 （枝幸高校 教頭へ）

このたびの異動で、道北の枝幸高校に行くことになりました。3年生を担当していたため、1，2年生はソフトボール部の生徒以外あまり関わりはなかったかもしれません。北西で過ごした5年間。生徒とともに成長してきました。私は北広島西高が大好きです。大好きな北西で皆さんがさらに成長し、卒業後も卒業生であることに誇りをもってもらいたいと強く願っています。皆さんが社会人となり、どこかで出会ったとき北西を大いに語れるとうれしいなと思います。お世話になりました。また、どこかでお目にかかりましょう。

＜数学科＞ 柴崎 智勝 教諭 （大麻高校へ）

2年前から人事交流で青森高校に勤務していたので、直接みなさんと関わることはありませんでしたが、北広島西では学年主任としてみなさんの先輩たちと楽しく過ごした日々が思い出として残っています。みなさんも楽しい学校生活を送ってください。

＜数学科＞ 福田 博之 教諭 （えりも高校へ）

今の1，2年生とは直接授業での関わりはあまりなかったですが、バドミントン部と生徒会の生徒とは様々な部分で関わりがありました。

離れた場所からになりますが、今後のみんなの活躍を願っています。頑張ってください。

ありがとうございました。

＜理科＞ 伊藤 準 教諭 （札幌厚別高校へ）

13年間、北西生とともに過ごしてきました。これからも北西生の活躍に注目していきます。がんばれ北西生！

<英語科> 仲川 武雅 教諭 (小樽双葉高校へ)

1年という短い間でしたが、2年生の皆さんとは英語表現Ⅰと一緒に授業をしました。
また男子バレーボール部では1年生が多数入部してくれ、チームができ練習試合をし、公式試合で1勝を果たしました。

生徒の皆さんに1つ伝えたいことは、「やると覚悟を決めれば、何でもできる」ということです。
いろいろなことを経験して、自分の経験範囲を広げていくことで価値観が変わってきます。
自分探しの旅を続けていく中で、もっともっと可能性を見い出してください。

<英語科> 岩館 美也子 教諭 (札幌西陵高校へ)

長い北西の教員生活で沢山の思い出を作ることが出来ました。これからも皆さんの活躍を期待しています。ありがとうございました。

<英語科> 徳橋 孝之 主幹教諭 (札幌北陵高校 主幹教諭へ)

生きていく中で身につけた知識と培った経験は、決して自分を裏切ることはありません。身につくには時間がかかりますが、これを厭わず、貪欲に自らの成長を求めましょう。

8年間のキタニシ生活で、多くのいい出会いと感動に恵まれました。ありがとうございました。

<事務> 加藤 弥志 事務主任 (札幌丘珠高校へ)

事務部の加藤弥志です。この度、4月から札幌丘珠高校で勤務することとなりました。
北広島西高校には、平成29年から3年間の在勤期間でしたが、あっという間の3年間でした。北広島西高では印象に残る出来事が沢山あり、とても思い出の深い事が多かったです。事務分掌上、皆さんと接する機会は中々ありませんでしたが、各種申請書の提出、届出等では、お世話になりました。新型コロナ等で大変な時期ですが、健康に留意し、皆さんの進路実現に向けて、様々なことに粘り強く取り組んでください。